



角 笛 会 会 報

ホームページ : <http://www.tsunobue.org/>

発行所

日本大学生物資源科学部
校友会 角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野 1 8 6 6

0 4 6 6 - 8 4 - 3 6 3 3



巻頭のご挨拶

角笛会会長 鳥海 弘 (昭和50年卒)

影響で、予定されていた学位記等伝達式、卒業生謝恩会、新入生歓迎会等への出席ができませんでした。本来、若い年代の卒業生や新入生との交流は有意義な時間でもあります。感染拡大の影響で出席が叶わなかった卒業生に校友会や獣医師会について話をする機会がなくなったのは残念でした。

4月24日には新入生125名を対象に「角笛会とその役割について」の講演する機会を得ました。これは角笛会・前会長であった故中川秀樹先生の時代から続いていたものです。講演資料は中川先生が作成されたオリジナルを基に私の考察を付与した90分間の内容です。講義資料の作成のための角笛会の歴史の調査では改めて本会の歴史の深さを再認識したと同時に、この角笛会をさらに活発な活動をしていかなければならないと痛感した次第です。その前会長の中川秀樹先生は本年1月7日に逝去され、1月13日に家族葬にて葬儀が執り行われました。4月1日には有志で中川先生の職場であった旧動物病院に弔問させていただき仏前にて、今までの14年間に亘る会長としての功績と校友会組織を構築していただいたご尽力に対しお礼を述べさせていただきました。まだまだ70歳代の充実した年齢であられ、これからもご指導を賜りたかったのに誠に残念でなりません。ここに改めて哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

年度末と新年度の幹事会、角笛会定期総会は、電磁的記録あるいは書面での意思表示によるみなし決議による方法に変更しての開催となりました。

定期総会は令和3年8月6日に紙上開催として上程させていただきました。第1号～3号議案のすべてが全会一致で可決承認されました。

角笛会功労賞の授与については、今年度は支部役員として角笛会発展のためにご尽力いただきました内田浩司氏（静岡県）、渡部淳一氏（岩手県）の2名に賞状と記念品を授与させていただきました。一昨年の総会にて支部役員以外にクラス会幹事、本部事務局経験者も推薦対象等の功労者も対象となっておりますが今年度は該当がありませんでした。角笛会総会が紙上開催となり日本大学獣医学会も中止となったため学生向けの動物病院就職説明会も中止となりました。例年、角笛会総会と日本大学獣医学会が同日開催の恒例となっておりますが本質は別組織です。本来であれば両者が一つの大きな組織となり拡充させることができれば、さらに充実した活動が出来るのではないかと考える次第です。

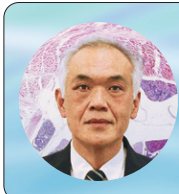
また第19回日本大学医療系同窓・校友学術講演会等の主要事業も中止となりました。総合大学である本学の医療系の同窓が集まり共通のテーマを追求することは非常に素晴らしいことであり、総合大学である本学であればこそ出来ることです。

現在、全国には6,000～7,000名の角笛会会員が在籍していると推測されています。多くの会員がそれぞれの分野でご活躍いただいております。その活躍に対し慶事が続きました。令和2年春の渡部敏先生の瑞宝小綬章受章に続き、令和2年秋の叙勲で酒井健夫先生の瑞宝重光章受章の慶事の報がもたらされました。心よりお慶びを申し上げます。また6月開催の日本獣医師会総会において本学出身の蔵内勇夫氏が日本獣医師会会長として5期目の再選をされました。本学出身の地方会会長も多く活躍されております。

角笛会は都道府県毎に支部がありますが、支部活性化と会費未納入支部への対応が大きな課題ですので、この課題を解決しなくてはならないと考えております。角笛会は通常事業の他にも幅広い活動をしております。また毎年会報を発行し大学の近況、全国の校友の動向、クラス会等の情報を皆様に発信しております。会員からの情報は本会HPを通してお知らせしています。またご要望があれば事務局にご連絡ください。名簿の維持管理の目的で角笛会同期会開催に際し、同期会名簿の提出をもって1万円の補助をすることになっておりますので積極的に利用していただきたいと思います。

本学獣医学科の卒業生は誰しもが角笛会会員であります。現在、角笛会で活動されていない卒業生の皆様には世代を越えて校友と触れ合い、社会貢献する活動や次世代を担う在校生との交流を共に致しませんか。本学の獣医学科から獣医学部への移行のためにも、特に若い世代の卒業生が角笛会の一員として活動され組織の活性化を図っていただくことをお願いすると共に心より皆様の参加をお待ちしております。

令和4年11月11日（金）～13日（日）に福岡（ヒルトン福岡シーホーク）にてFAVA 21th大会並びに日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催されます。その初日（11日）の夜に別会場にて角笛会交流会を開催したいと計画しておりますので多くの会員の先生方のご参加をお待ちしております。



ご 挨拶

獣医学科主任 森 友 忠 昭 (昭和61年卒)

学科主任を拝命いたしております昭和61年度卒の森友です。会長の鳥海 弘先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく存じております。学科教員を代表して厚くお礼を申し上げます。

さて、当獣医学科は2021年3月に116名の卒業生を送り出しました。そのうちの115名が獣医師国家試験に臨み、109名が合格し、合格率は94.8%と全国平均92.1%を上回りました(2年連続で私立大学中トップとなりました)。本年も多くの獣医師を社会に送り出し、新卒生は既にそれぞれの就職先で活躍を始めております。また、4月には125(男52、女73)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は798(男346、女452)名となりました。

今年3月は、獣医臨床病理学研究室の鎌田 寛教授が退職されましたが、特任教授として引き続き学生教育などを行って頂いています。一方で、今年4月には、獣医薬理学研究室に山口 卓哉助教、獣医衛生学研究室に瀬川 太雄助教をお迎えしました。また、堀北 哲也先生が獣医産業動物臨床学研究室へ、住吉 俊亮先生が獣医臨床繁殖学研究室へ異動されました。また、獣医外科学研究室的の枝村 一弥先生、獣医臨床繁殖学研究室の大滝 忠利先生および獣医神経病学研究室的の伊藤 大介先生が教授に昇格され、獣医臨床繁殖学研究室の住吉 俊亮先生が准教授に昇格されました。

昨年度は新型コロナのため、学科運営に大きな影響が出ましたが、今年度は講義・実習はなるべく行うが、他の行事はなるべく控えるなど、優先順位をつけて対応しています。まず、3月の卒業式は昨年と同様、簡略化された卒業証書伝達式のみとなりました(別れを惜しむ間もなく、卒業生を送り出したことは残念でした)。また、4月初めの入学式も行うことはできませんでした。しかし、講義は広めの講義室で、座席指定で行うなどして通常どおり行っています。また、実習は3密をさけるため4班に分け、WEB授業と組み合わせで行っています。また、研究室も厳格に入室管理を行うことで通常どおり活動しています。このような対策もあり、獣医学科内でのクラスターの発生はありません。しかし、クラブ活動は昨年度より停止されており、さらに5月の体育祭、11月の学園祭なども軒並み中止となりました。学生達にとってはもの足りない日々が続いています。しかし、非常事態宣言もようやく解除され、10月よりクラブ活動も再開されました。すこしずつ活気が戻ってくると期待しています。

生物資源科学部においては、受験者数が暫減する中、“今後とも選ばれ続けられる大学として、既存の学科の枠組みを越えた改革が必要”との方針が、大矢祐治学部長より示され、令和5年度には学部改組が予定されています。今後、獣医学科としても学部改革に積極的に関与することはもちろんですが、“資格取得を目的とした6年生教育を行う学科”としての立場も理解していただかねばと思っています。

今回は、大学や獣医学教育の近況についてご紹介を致しましたが、何事においても、当獣医学科の教員だけで成し遂げることはできません。角笛会の先生方との交流を深め、折に触れご意見を頂戴し、それを生かしながら教員一丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進致したいと思います。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

令和3年度 角笛会総会・日本大学獣医学会 合同開催 および角笛会主催 動物病院就職説明会の中止

事務局 大野 真美子 (平成20年卒)

令和3年度角笛会総会ならびに日本大学獣医学会を合同開催する予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束がみられないことから、令和3年度角笛会総会ならびに日本大学獣医学会の合同開催を中止することといたしました。

また、同日に開催予定であった獣医学科学生(準会員)のための動物病院就職説明会についても、同様に中止することといたしました。

令和3年度角笛会総会(紙上総会)

事務局 大野 真美子 (平成20年卒)

令和3年8月6日に、紙上にて令和3年度角笛会総会を開催し、8月16日までご意見をいただきました。令和2年度事業活動および会計収支報告、令和3年度事業活動および予算案等が審議され、全員一致で承認されました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として、内田浩司氏(静岡県)、渡部淳一氏(岩手県)の2名に賞状と記念品が授与されました。

総会資料

令和2年度 一般会計収支決算報告書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 本部会費	1,200,000	1,051,000	△ 149,000	各支部より1051名×1,000円
2. 準会員費	2,400,000	2,544,270	144,270	学部校友会
3. 雑収入	592	10	△ 582	預金利子、その他
4. 前年度繰越額	1,469,408	1,469,408	0	令和元年度分
収入合計 (A)	5,070,000	5,064,688	△ 5,312	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 経常費	2,060,000	669,454	1,390,546	
(1) 会合費	10,000	0	10,000	会議等
(2) 交際費	300,000	38,500	261,500	支部総会祝い金・慶弔費・謝礼等
(3) 旅費交通費	1,000,000	0	1,000,000	支部総会旅費等
(4) 通信運搬費	50,000	53,949	△ 3,949	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費	700,000	577,005	122,995	給与・消耗品等
2. 会報費	500,000	537,570	△ 37,570	会報36号
3. 名簿管理費	200,000	217,360	△ 17,360	業務委託費等
4. 準会員支援費	1,800,000	759,160	1,040,840	新入生・卒業生記念品・就職説明会等
5. 褒賞費	100,000	196,350	△ 96,350	功労賞
6. 学会補助費	0	0	0	
7. 医療系校友会補助費	130,000	0	130,000	
8. 組織拡充費	80,000	44,840	35,160	ホームページ管理等
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	名簿作成繰入金
10. 特別会計Ⅱ	200,000	200,000	0	将来事業繰入金
11. 特別会計Ⅲ	0	0	0	角笛会学生支援基金
12. 予備費	0	0	0	
支出合計 (B)	5,070,000	2,624,734	2,445,266	

令和2年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 2,439,954円

令和2年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	一般会計より
2. 雑収入	25	26	1	預金利子等
3. 前年度繰越額	3,048,025	3,048,025	0	
収入合計 (A)	3,048,050	3,048,051	1	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成積立金	3,048,025	0	3,048,025	
2. 雑支出	25	0	25	
支出合計 (B)	3,048,050	0	3,048,050	

令和2年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,048,051円

令和2年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業繰入金	200,000	200,000	0	一般会計より
2. ANMEC 研究助成金*	0	0	0	一般会計より
3. 雑収入	4	27	23	預金利子等
4. 繰越額	1,655,996	1,655,996	0	
収入合計 (A)	1,856,000	1,856,023	23	

*今年度は休止

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業積立金	1,856,000	0	1,856,000	次回式典及び記念誌作成のための積立
2. ANMEC 研究助成金*	0	0	0	
3. 予備費	0	0	0	
支出合計 (B)	1,856,000	0	1,856,000	

*今年度は休止

令和2年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,856,023円

令和2年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛会学生支援基金	0	0	0	
2. 雑収入	0	0	0	
3. 繰越額	1,600,000	1,600,000	0	
収入合計 (A)	1,600,000	1,600,000	0	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛会学生支援基金	0	0	0	
支出合計 (B)	0	0	0	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

令和2年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,600,000円



令和3年度 一般会計予算（案）
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 本部会費	1,200,000	1,200,000	1,051,000	0	1,200名×@1,000円
2. 準会員費	2,400,000	2,400,000	2,544,270	0	学部校友会
3. 雑収入	46	592	10	△ 546	預金利子
4. 前年度繰越額	2,439,954	1,469,408	1,469,408	970,546	
収入合計	6,040,000	5,070,000	5,064,688	970,000	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 経常費	1,560,000	2,060,000	669,454	△ 500,000	
(1) 会合費	10,000	10,000	0	0	会議等
(2) 交際費	300,000	300,000	38,500	0	支部総会祝い金・ 慶弔費・謝礼等
(3) 旅費交通費	500,000	1,000,000	0	△ 500,000	支部総会等旅費
(4) 通信運搬費	50,000	50,000	53,949	0	通信
(5) 事務局運営費	700,000	700,000	577,005	0	給与、消耗品等
2. 会報費	600,000	500,000	537,570	100,000	会報37号
3. 名簿管理費	200,000	200,000	217,360	0	業務委託等
4. 準会員支援費	1,600,000	1,800,000	759,160	△ 200,000	新入卒業生記念品、 懇親会招待他*
5. 褒賞費	200,000	100,000	196,350	100,000	功労賞
6. 学会補助費	0	0	0	0	第58回日本大 獣医学会**
7. 医療系校友会 補助費	130,000	130,000	0	0	第19回日本大学医療 系同窓・校友会
8. 組織拡充費	80,000	80,000	44,840	0	ホームページ管理等
9. 特別会計Ⅰ	0	0	0	0	名簿作成繰入金
10. 特別会計Ⅱ	200,000	200,000	200,000	0	将来事業繰入金、 ANMEC 研究助成金
11. 特別会計Ⅲ	0	0	0	0	角笛会学生支援基金
12. 予備費	1,470,000	0	0	1,470,000	
支出合計	6,040,000	5,070,000	2,624,734	970,000	

* 就職支援活動費を含む

令和3年度 特別会計Ⅰ 予算【名簿会計】（案）
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 名簿作成繰入金	0	0	0	0	一般会計より
2. 雑収入	9	25	26	△ 16	預金利子等
3. 繰越額	3,048,051	3,048,025	3,048,025	26	
収入予算合計	3,048,060	3,048,050	3,048,051	10	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 名簿作成積立金	3,048,060	3,048,025	0	35	
2. 雑支出	0	25	0	△ 25	
支出予算合計	3,048,060	3,048,050	0	10	

令和3年度 特別会計Ⅱ 予算【将来事業資金】（案）
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 将来事業積立金	200,000	200,000	200,000	0	一般会計より
2. ANMEC 研究助成金*	0	0	0	0	一般会計より
3. 雑収入	7	4	27	3	預金利子等
4. 繰越額	1,856,023	1,655,996	1,655,996	200,027	
収入予算合計	2,056,030	1,856,000	1,856,023	200,030	

* 今年度は休止

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 将来事業積立金	2,056,030	1,856,000	0	200,030	次回式典及び記 念誌作成のための 積立
2. ANMEC 研究助成金*	0	0	0	0	
3. 予備費	0	0	0	0	
支出合計	2,056,030	1,856,000	0	200,030	

* 今年度は休止

令和3年度 特別会計Ⅲ 予算【支援基金】（案）
（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額 (B)	前年度 予算額 (A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 角笛会学生支援基金	0	0	0	0	
2. 雑収入	0	0	0	0	
3. 繰越額	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0	
収入予算合計	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額(B)	前年度 予算額(A)	前年度 決算額	前年度予算 との比較 (A)－(B)	備 考
1. 角笛会学生支援基金	1,600,000	1,600,000	0	0	
支出合計	1,600,000	1,600,000	0	0	

（備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。）



日本大学動物病院 (ANMEC) だより

動物病院長 中山 智 宏

角笛会会員の先生方におかれましては、平素より ANMEC の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年と同様に今年も新型コロナウイルス感染症のため、例年にない ANMEC 運営が続いています。昨年度は未知の感染症対応のため、診療数を減らさざるを得ない状況でしたが、今年度は、感染対策を進め、診療頭数、診療収入ともに新型コロナウイルス禍以前の実績に戻っています。ただ、ANMEC は多くの人が集まる場所であることから、感染防止対策を緩めることは出来ません。9 月末でワクチン 2 回接種率が国民の 60% に迫る状況ですが、引き続き、十分な感染防止対策を取った上での診療および教育業務を続けるように努力しています。

今年度の授業、実習は対面方式が原則となり、キャンパスは昨年度の学生がいない閑散とした風景から様変わりし、活気がみられるようになりました。後期授業が始まる 10 月から獣医学科 5 年生を対象とした総合参加型臨床実習（病院実習）が実施され、ANMEC 内への学生の出入りが多くなります。引き続き、3 密を防止し、飼い主、学生、教職員に安全な環境を保全していきたいと思えます。長期間にわたる緊急事態宣言が解除されたばかりですが、新型コロナウイルス感染症が一刻でも早く終息することを願うばかりです。

次に、今年度の臨床系教員人事から ANMEC の近況をご報告いたします。本年度は新任人事はなく、昇進人事のみでした。産業動物繁殖科の大滝先生（獣医臨床繁殖学研究室）、整形外科の枝村先生（獣医外科学研究室）、神経科（獣医神経病学研究室）の伊藤大介先生の 3 名が教授に昇進しました。また、産業動物繁殖科の住吉俊亮先生（獣医臨床繁殖学研究室）が准教授に昇進しました。そして、有給研修医については、新規に 9 名を採用しました。その結果、4 年目までの研修医数は 21 名となりました（2 年目 8 名、3 年目 2 名、4 年目 2 名）。動物病院スタッフ一同、良い診療を通じて飼い主さんや先生方に尚一層、満足していただけるような動物病院作りに努めていきますので、何卒よろしくお願いいたします。

病院設備につきましては、現在稼働中の MRI（1.5 テスラ）が設置されてから 16 年目となり、この度、最新鋭の MRI 機種（3.0 テスラ キヤノンメディカル製 Vantage Centurian）に更新されます。更新には MRI 室の付帯工事も含めて、10 月 1 日から 2 ヶ月ほど要する見込みです。この期間、MRI 検査が実施出来なくなり、先生方には大変にご迷惑をおかけしますが、12 月頃から稼働する最新鋭の機器で撮像される高画質な画像と今までに出来なかった撮像手法による新たな画像にどうかご期待ください。

末筆であり、またコロナ禍ではありますが、動物病院では先生方の見学を歓迎しています。お近くにお越しの際には、是非、ご連絡ください。

動物医科学研究センターセミナー開催報告

動物医科学研究センターセミナー開催（第 152 回～第 155 回）

第 152 回（R3. 6. 8 開催）

演題：「NGS が魚類遺伝学にもたらしたインパクト」
細谷将先生
（東京大学大学院農学生命科学研究科 附属水産実験所）

第 153 回（R3. 7. 13 開催）

演題：「動物の疾患と DNA メチル化」
山崎淳平先生
（北海道大学大学院獣医学研究院 附属動物病院）

第 154 回（R3. 10. 12 開催）

演題：「犬のがんの新規治療薬としての動物用抗体薬の開発と臨床応用」
水野拓也先生
（山口大学共同獣医学部 臨床病理学研究室）

第 155 回（R3. 11. 9 開催）

演題：「デジタルツール/テクノロジーを活用した医学/医療研修プログラムの発展
～医学教育における現在と未来、獣医学教育への応用の可能性～（仮）」
飯田玄德先生
（ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）メディカルカンパニー）

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第 72 回獣医師国家試験が令和 3 年 2 月 16 日、2 月 17 日に TOC 有明 4 階にて行われました。日本大学獣医学科から 115 名が受験し、109 名が合格しました。合格率は 94.8%（全国平均 92.1%）で、私立大学 2 年連続第 1 位になりました。

【表彰、受賞】

令和 2 年度の卒業生のうち、優等賞が柴崎花音さん、学部賞が北川遥さん、高橋美帆さん、日本獣医師会賞が中野良輝さん、角笛会長賞が荒谷しおりさん、芦谷実樹さん、角笛会特別賞が曾根昂也さんにそれぞれ授与されました。

【博士（獣医学）の学位取得者】

令和 2 年度 課程博士：鍋島圭氏、岡野雅春氏、南雲隆弘氏、山崎敦史氏、鈴木陽彦氏
論文博士：水上昌也氏

【退 職】

本年3月をもって鎌田寛教授（獣医臨床病理学研究室）が退職されました。

【人事・昇格】

枝村一弥先生（獣医外科学研究室）、大滝忠利先生（獣医臨床繁殖学研究室）、伊藤大介先生（獣医神経病学研究室）が教授に、住吉俊亮先生（獣医臨床繁殖学研究室）が准教授に昇格されました。鎌田寛特任教授が獣医臨床病理学研究室に採用されました。また、堀北哲也教授が獣医産業動物臨床学研究室に、住吉俊亮准教授が獣医臨床繁殖学研究室に異動されました。

【新 任】

本年4月に瀬川太雄助教（獣医衛生学研究室）、山口卓哉助教（獣医薬理学研究室）、鎌田寛特任教授（獣医臨床病理学研究室）が採用されました。

■ 新任の先生の自己紹介



（獣医衛生学研究室）
瀬川太雄助教

本年4月より、獣医衛生学研究室に助教として着任いたしました瀬川太雄と申します。私は本学獣医衛生学研究室の伊藤琢也教授の指導のもと、イルカにおける免疫学的診断法の開発に関わる研究で博士号を取得しました。その後、日本学術振興会特別研究員 PD として三重大学の鯨類研究センターに所属し、全国の水族館と共同して鯨類等の細菌感染症の予防衛生を目的とした研究を行い、現在に至ります。故鈴木由紀准教授には大変お世話になり、先生の研究に対する情熱と前向きな姿勢にいつも多くを学ばせていただいております。こうして教員として母校の出身研究室に戻った今、これまで本研究室を支えてくださった沢山の先生方の意志を継ぎ、自分なりにより良い教育・研究ができるよう日々励んでいく所存です。若輩者で至らない点も多いかと存じますが、皆様からのあたたかいご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



（獣医薬理学研究室）
山口卓哉助教

角笛会の先生方には初めてご挨拶申し上げます。本年4月より獣医薬理学研究室に助教として着任いたしました山口卓哉と申します。神奈川県横須賀市出身で、本学獣医学科を卒業後、本学大学院獣医学研究科を修了し博士号（獣医学）を取得しました。その後はドイツ連邦動物衛生研究所であるフリードリヒ・レフラー研究所で約6年間、さらには川崎の実験動物中央研究所で約2年間、研究員としてそれぞれ研究活動に従事して参りました。これまでは魚類やマウスを用いて基礎的な免疫研究を行って参りましたが、今後は山崎純教授のもと、当研究室の教育・研究に少しでも貢献できるよう、日々努力してまいる所存です。皆様にはご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 令和2年度獣医学科入試状況

選抜方法選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
A 方式（第1期）	42名	638名	136名	4.7倍
A 方式（第2期）	15名	339名	19名	17.8倍
N 方式第1期	3 名	191名	13名	14.7倍
一般推薦（公募制）	学部全体で100名	34名	23名	1.5倍
一般推薦（公募制・関連産業後継者）	学部全体で26名	5 名	4 名	1.3倍
校友子女推薦（公募制）	学部全体で28名	6名	5 名	1.2倍

■ 学年担任（令和3年度）

- 1 年次 浅野和之教授（獣医外科学）、越後谷裕介専任講師（実験動物学）
- 2 年次 小川健司教授（獣医伝染病学）、住吉俊亮准教授（獣医臨床繁殖学）
- 3 年次 壁谷英則教授（獣医食品衛生学）、岡林 堅准教授（獣医生化学）
- 4 年次 堀北哲也教授（獣医産業動物臨床学）、丸山治彦准教授（獣医臨床病理学）
- 5 年次 北川勝人教授（獣医神経学）、小熊圭祐准教授（獣医伝染病学）
- 6 年次 山谷吉樹教授（獣医麻酔・呼吸器学）、関 真美子専任講師（獣医外科学）

討 報

中川前会長の思い出

獣医病理学研究室 渋谷 久 (昭和62年卒)

私が事務局長を丸山総一教授から引き継いだのは平成20年6月で、それから6年間3期にわたり、中川前会長に仕えました。最初に与えられた仕事は「日本大学総長 酒井健夫教授を励ます会」の企画・開催でした。中川先生は平成15年7月から会長職に就いており、すでに角笛会の運営を熟知していたので、事務局の仕事を多く教えてもらったことを覚えています。いきなり大きな祝賀会と言われても、まったく見当がつかなかった私ですが、中川先生の立案、判断を仰ぎながら、何とかやり遂げました。小動物臨床の先駆けを歩んで来られ、角笛会という大所帯をまとめ上げてきた先生なので、わたしは無条件に信頼して角笛会の運営をしていました。

個人的にも親しくして頂き、会議後の反省会と称したバー、カラオケ、飲み屋など中川先生の行きつけの店によく連れて行ってもらいました。2回りほど年齢の違う中川先生に大きな親近感を感じ、人柄に魅せられていたのは大学教員の中で私だけではなかったと思います。中川先生を一言では語れませんが、あえて言うなら公明正大の人と呼べると思います。それでいて情の厚い先生でした。飲みに行くたびに「そろそろ会長を辞めさせてくれ」と笑って言っていました。がんセンターに入院して見舞いに行った時も、「これで辞められるかな」と嬉しそうに語っていましたが、元気そうに点滴スタンドを引きながらセンター内を歩き回っている姿を見て、「あと10年はできますね」とお声がけしたのが懐かしいです。最終的には平成30年6月まで会長職を全うされました。「やりたくないけど周りが望むならそれに応えるよ」という先生の何気ない一言が、先生の新入生への特別講義で激励する「獣医師として社会に貢献しなさい」という言葉に重なって聞こえます。中川前会長の多大なる貢献にあらためて感謝したいと思います。

白井弥先生のご逝去を悼む

事務局

白井弥先生（獣医病理学研究室 元教授）（享年88歳）におかれましては、令和3年1月5日にご逝去されました。ここにご冥福をお祈りし、謹んでお知らせいたします。



トピックス

酒井健夫名誉教授「瑞宝重光章」受章

獣医衛生学研究室 教授 伊藤 琢也

本学名誉教授 酒井健夫先生は、昭和56年に農獣医学部獣医衛生学研究室の教員として着任された後、32年間にわたり研究・教育に従事されました。本学部の学部長および平成20年には第12代日本大学総長に就任し、学生の教育および研究環境の整備・充実などをはじめ、多くの教学改革を手掛けられて、本学の発展に大きく貢献されました。また学外でも、農林水産省獣医事審議会会長、内閣府食品安全委員会プリオン専門調査会座長、日本産業動物獣医学会会長、全国農学系学部長会議副会長、私立獣医科大学協会会長などの多数の要職を歴任されました。平成25年3月に本学を定年退職された現在も公益社団法人日本獣医師会の顧問、農場 HACCP 協議会の会長、動物看護師統一認定機構の代表理事をはじめ、多くの要職で獣医・畜産界を牽引されておられます。これらの功績に対し、令和2年秋の叙勲において、「瑞宝重光章」を受章されました。

事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いします。

支部総会に現役教員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談ください。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
角笛会関連記事(活躍する卒業生)

■ ここにも！ 日大の DNA interview 恩田 英治氏

「本部企画広報部広報課提供「桜門春秋 No.142」を再編集」

よこはま動物園（ズーラシア）は、横浜市が持つ国内最大級の動物園。絶滅危惧種を中心とした、約100種750頭の動物を飼育している。本来の生息環境を模した風景の中で、動物の生息地での姿に思いを巡らせることができる。園内の広さは、東京ドーム10個分に相当する45ヘクタール余り。観覧しやすいように、世界の地域・気候帯別に区分してある。樹木や草花など植物も豊富だ。レストランや売店、子どもの遊び場などもあり、家族連れが一日中楽しめる。バスで園内を巡ることもでき、毎年約100万人が訪れる。恩田英治氏は、園にとって不可欠な飼育員や獣医師らを束ね、動物の保全等に多大な貢献をしている。



恩田 英治（おんだ・えいじ）
よこはま動物園（ズーラシア）飼育展示第二係長・医療係長
（農獣医学部〈現・生物資源科学部〉獣医学科卒）

— 普段のお仕事の内容を教えてください。 —

恩田 絶滅の恐れがある希少動物をできるだけ多く繁殖させ、保全につなげることが、この動物園の使命です。そのためには、動物を健康に飼育管理すること、適切な飼育環境を提供することが重要となります。そうすることは動物たちの自然な行動を引き出し、来園者に喜んでもらうことにもつながります。

そのため私は、70人の飼育員や4人の獣医師らとともに、さまざまな問題の解決に当たっています。また繁殖のために、国内外の他の動物園との間で、動物を預けたり引き受けたりすることが頻繁にありますので、その調整などもします。今後、このような動物園間のネットワークがさらに重要になると考えていますので、より良い関係づくりには気を配っています。

— 心掛けていることは何ですか。 —

恩田 動物園を存続、発展させるために、お客さんが楽しい時間を過ごし、再訪してくれるような場所になることが重要と考えています。動物たちに対しても「動物福祉」の視点を常に忘れず、現状が動物の生息に適した環境になっているかどうかを考え、改善の努力を怠らないようにしています。

例えばゾウの放飼場は、本来の生息環境を考えて、床面に土を敷いています。清掃のしやすさなどからコンクリート床が選ばれることが多く、当園でも獣舎の内部はコンクリート床になっています。そのため現在、ゾウの弱い足の裏を保護できるように、床に砂を敷く工夫をしています。

— 働きがいがありそうですね。 —

恩田 私が生まれ育った山梨県甲府市の実家近くに、国内で4番目に古い歴史的な動物園があり、子どもの頃からよく足を運んでいました。動物好きというより、そこの平和で穏やかな雰囲気が、心地よかったです。その後、動物園で働きたいと思い始め、日大の農獣医学部（現・生物資源科学部）獣医学科で勉強して獣医師になりました。それから民



おんだ・えいじ
1974年 甲府市生まれ
1993年 日本大学農獣医学部獣医学科入学
1999年 同学科卒業
2005年 横浜市入庁、同市立野毛山動物園に配属
2008年 同市繁殖センターに配属（所長）
2011年 同市環境創造局動物園課に配属
2015年 同市立金沢動物園に配属（飼育展示第二係長）
2019年 同市立よこはま動物園に配属（飼育展示係長兼医療係長）

間動物病院の勤務を経て横浜市職員になり、このズーラシアを含む市内3カ所の動物園で、獣医師として働いてきました。当然働きがいがありますし、このように働けること自体が、幸せなことだと思っています。

一日大での学びは、今の仕事にどう生かされていますか。

恩田 獣医師の資格を取得したことが、動物の健康管理に携わることにつながっているわけですから、日大での学びは全てが大変に貴重でした。6年制の獣医学科の後半3年間は、臨床繁殖学研究室に所属し、多くの先輩や企業、酪農家といった多くの関係者とのつながりを持ち、人間関係を大事にすることも学びました。それが今でも、大いに役立っています。



「社会に出て仕事をする上では、いろいろな考え方を持つ人たちと
きちんと議論できることが大前提。コミュニケーション能力は必須です。」

一日々の学生生活はいかがでしたか。

恩田 前半の3年間は、獣医師の資格取得を意識して、真面目に勉学に励みました。自由な時間も多かったので、趣味である映画鑑賞もよく楽しんでいました。研究室での3年間は、獣医療の勉強や人間関係のほか、臨床繁殖学の研究に関連する事柄に、たっぷりと時間を割きました。例えば乳牛の乳を材料にして、細菌の検査をしたり、乳牛に多い乳房炎の改善について研究したり。研究材料である乳牛の乳を採取するために、キャンパスのある神奈川県藤沢市から茨城、千葉県の酪農家の所までよく出かけました。また、研究室では研究用の牛、馬、犬を飼っており、4～6年生の研究室メンバー計20～30人のうち、主に4年生が中心になって、交代で世話をしていました。

一日大の魅力はどこにあると思いますか。

恩田 各学部とも他大学と比べて、設備が充実しており、勉強する環境はかなり快適だと思います。生物資源科学部だけ見ても、キャンパス内や近隣地、全国各地に多くの施設があります。特に農場や演習林、臨海施設など、自然の中での体験学習の場となる施設が整っています。私が在籍していた農獣医学部の頃は、2年生の夏休みに、北海道へ牧場実習に行く機会も与えてもらいました。研究室に入ってから、2週間ほど海外研修に参加するなど、実に多くの勉強をさせていただきました。

一後輩へのメッセージがあれば、お願いします。

恩田 私は2010年から現在まで、生物資源科学部の獣医学科で、非常勤講師として野生動物学の講義をさせていただいています。昨年はコロナ禍のためオンラインという形で、全く学生の顔を見ずに終わってしまいましたが、毎年、最終講義の時に学生に伝えていることがあります。それは、社会に出て仕事をする上では、いろいろな考え方を持つ人たちと、その意図を理解してきちんと議論できることが大前提になる、ということです。コミュニケーション能力が必須であるということです。恵まれた環境を十分に生かして、獣医療の勉強に限らず、さまざまなことを学び、いろいろな経験を重ね、多様な価値観を身に付けてほしいと思います。



よこはま動物園 ズーラシア

〒241-0001 横浜市旭区上白根町1175-1

TEL 045-959-1000

開園時間 9:30 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

休園日 毎週火曜日 (祝日の場合は開園し、翌日休園)

アクセス 相鉄線「鶴ヶ峰」駅北口、相鉄線「三ツ境」駅北口

JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅南口下車

各駅から「よこはま動物園行き」のバスで約15分

URL <http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

角笛会関連記事(校友だより)

■獣医療と薬理の始祖「大国主命」と獣医学のあゆみ

青木蓉冶（昭和36年卒）

1 獣医療と薬理の始祖「大国主命？」（編纂のきっかけ）

年金生活「晴耕雨読」。積極的に地域社会活動に参加することもなく、晴天日はトレーニングジム仲間が所有する畑の小作人。雨天日は生活習慣病予防の体力づくり、か、読書生活。

このような中で古事記：「神話の謎を解く」西城勉著（中公新書）の章：古事記「稲羽之素菟」や童話のイナバノシロウサギ「因幡の白兎」に登場する神話の神「大国主命」が「獣医師の始祖？」と推測し、童話のストーリーをベースに「古事記原文の抜粋と神代の世相」を拙文で、後段の章「獣医学のあゆみ」は参考年表に加筆編纂しました。

なお神代の世界は「いつ・どこで・誰から医療と薬学の教授を受けたのか？」若しくは「日常生活を送る中で傷や湿疹・病を野草や樹皮を用いて癒す経験で学んだのか？」。

物語のストーリーは、隠岐の島に住む兎が中つ国（島根県）には、柔らかい草がたくさん生えていると仲間から聞き、その島に渡り住みたいと思い、和邇（ワニ＝鮫）を騙して渡る策として、海辺に行き、ここで暮らす和邇に「和邇族と兎族、どちらが多いか数え比べよう」「方法は、和邇族が気多の浜まで並んでおくれ」「私が背の上を踏んで数えるから、和邇族を集めておくれ」と、誘います。和邇は騙されているとは思わないで気多の浜まで並び、兎が浜に下りようとしたとき、「お前たちは欺されたのさ」と、これを聴いた和邇族は怒り、兎を捕らえ噛み、皮を剥ぎ赤肌の痛々しい姿にします。

なお、古事記「稲羽之素菟」に隠岐の島を「淤岐嶋」と記しています。「淤岐」の文字は「淤岐都登理（おきつどり）」など陸地から離れた海「沖」を指すことが多いため、「沖にある島」とする説もあります。

隠岐の島は、一周約89キロ内に17の神社と、荘厳な雰囲気「隠岐神社」があります。この島は流刑島として、1221年に後鳥羽天皇（鎌倉初期の天皇）や北条義時追討（承久の乱）敗れ没し、また醍醐天皇は足利尊氏と鎌倉幕府を倒す謀議したが彼の裏切で流刑にされています。

この物語に登場する和邇「鰐鰓（ワニザメ）」は、関西で「フカ」と、関東は「サメ」と呼び、日本近海にも生息する「頬白鮫（ホホジロザメ）」で獰猛な鮫です。この鮫のヒレをスープや蒲鉾・焼き身で食べる人間族こそが、地球上の捕食最高位動物と思いますが？

「原文：僕淤岐の島に在りて、此の地に度らむとすれども、度らむ因無かりき。故、海の和邇を欺きて言ひけらく「吾と汝を競べて、族の多き少なきを計へてむ」「故、汝は其の族の在りの随に、悉に率て来て、此の島より気多の前まで、皆列み伏し度れ。爾に吾其の上を蹈みて、走りつつ読み度らむ。是に吾が族と熟れか多きを知らむといひき、」「今地に下りむとせし時、吾云ひしく、汝は我に欺かえつ」と言いはる、即ち、「最端に伏せりし和邇、我を捕へて悉に我が衣服を剥ぎき。」

2 「蒲の穂」で癒した季節は秋

赤肌にされ痛み苦しむ私を更に痛めつけたのが、八上比賣（やがみひめ・18歳？）に求婚するため通りがかった、大国主命の兄（八十神＝やそがみ・25～7歳？）、赤剥けの肌を治すには「海水を浴び、山の頂で、強い風と日光にあたって、横になっていると治る」と言われ、素直に海水を浴びたが、海水の乾きで肌がごとごとく裂け、ヒリヒリ痛み苦しんで泣いているところに、兄神8人分の大きな荷物袋を担ぎ持たされた、末弟「大穴牟遲命（おおなむちのみこと）」即ち「大国主命17～8歳？」が、一人遅れて因幡の国へと向かう海辺の道（鳥取県白兔海岸）を歩いているところで、赤肌の兎に出逢います。「なぜ泣いているのか」と、尋ねると、八十神の教えに従ったが「激痛でこの身が耐えられない」と訴えると、経験上の知識を生かし「今すぐ水門へ行き、水で体を洗い、川岸や湿地に群生する蒲の穂（秋に咲くスポンジに似た茶色の花粉「蒲黄：ほうお」）を取り、まき散らし敷き、その上で寝転び、赤肌に花粉をつけないさい」この助言で癒すと肌は完治し発毛しました。

蒲は、ガマ科属の多年草の抽水植物。学名 *Typha latifolia* L. と言い、アメリカンドックに挟むフランクフルト・ソーセージと似て生け花で使用されます。漢方で蒲の蒲黄の薬効は、皮膚湿疹や止血薬。内服でも用いています。蒲の穂を揉むと綿に似た蒲黄は主に「ヒメガマ」または「コガマ」から採取され、わが国では「ヒメガマ」のほうが多く愛知県が産地とされています。「出典・いけばな花材大辞典＝主婦の友社」

「原文：是に大穴牟遲神、其の菟に教へ告りたまひけらく、今急かに此の水門に往き、水を以ちて汝が身を洗ひて、即ち其の水門の蒲黄を取りて、敷き散らして、其の上に寝転べば、汝が身本の膚の如、必ず差えむ。とのりたまひき。故、教の如為しに、其の身本の如くなりき。此れ稲羽の素菟なる。」

3 兄（八十神）の嫉妬で2度も殺された大国主命は死後に蘇る

兎は大国主命に、兄さんは「八上比賣に、ラブコールするが、彼女は絶対にことわるよ」「あなた様の嫁にはなりますよ」と予言します。

「原文：此の八十神は、必ず八上比賣を得じ、袋を負へども、汝命獲たまはむ。」

一般的に、おとぎ話はハッピーエンドで語られますが「古事記：稻羽之素菟」では大国主命が兄の想い人「八上比賣」を嫁にした嫉妬で殺される怖い記載があります。死から蘇った大国主命は、出雲大社（島根県）主神となり、「少彦名神（すくなびこのかみ）」と協力して禁厭（まじない）や医薬教育しますが、これらの役割を天孫瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）に譲り、杵築「築き」出雲大社の地で、リン含有の多い肉や魚、卵、乳製品など過剰摂取の加齢進行で隠退しているようです。本文主役の大国主は、大体160年頃出生、185年頃から約30年余り出雲と九州を統治し、その間九州統治の中心地である日向の都と出雲を往来していたようで、特に冬季の島根県出雲は寒いので、温暖な宮崎県日向の西都に行き側室の大日靈女と一緒に暮らすことが多かったようです。この地の西都原古墳群の一つに出雲族の特徴である方墳が存在し、215年頃、55歳前後に日向で死亡し埋葬されたとされていますが遺体は確認されていません。

なお、大国主命（神）は民間信仰で玄関や台所に祀られる財福・食物の神の七福神うち、頭巾をかぶり、左に大きな袋を背負い右手に打出の小槌、米俵を踏まえる「大黒天」・「恵比寿様」・「大己貴神（おおなむちのかみ）」・「国魂神（東京都府中市）」・「葦原醜男」・「八千矛神」など別称があります。また、大国主命は、八岐大蛇（やまたのおろち）退治で有名な須佐之男命（すさのうのみこと）の娘・須勢理毘売命（すせりびめのみこと）や、兎の予言で大国主命（25～6歳）八上比賣と結婚したが、国内各地の多数の女神と通婚し子供180人（神社）がいます。

この須佐之男命は八岐大蛇を切り、その尾から出た太刀「草薙剣」は、天皇の持つ武力の象徴とする三種の神器の一つで、その他に八咫鏡・八咫瓊勾玉があります。しかし、この「草薙剣」は壇ノ浦の戦い（源平合戦）で源氏に敗れた、安徳天皇（81代天皇）が関門海峡に剣を抱き入水自死したことで喪失しています。現在、神剣（形代）は宮中に祭られています。

「古事記・神話」の代表的な騙しの類話に、大国主命の実姉「天照大神（あまてらすおおかみ）」又は「天照大御神（あまてらすおおみかみ）」と称する女神は、高天原（国内に所在地は散在）統治の主宰神で、太陽神の性格と巫女の性格を併せ持つ存在として、三重県の伊勢神宮に祀られ、皇祖神とされています。

太陽神とする根拠の話は、天照大神が機屋で神に奉げる衣を織っていたとき、男神の一人が屋根に穴を開けて、皮を剥いだ馬を投げ入れ、服織女の1人がショック死をします。この悪さを怒り、宮崎県西臼杵郡高千穂町に所在する天の岩屋戸に籠ったことで天地が常闇（皆既日食）となり、多くの神（部族長）は常闇を恐れ騒ぎ、そこで相談し、美人女神「天鈿女命（あめのうずめのみこと）」を招き、ストリップで舞い騒ぐよう命じました。この煩さい騒ぎで何事が起きたのかと、岩屋戸（黄泉：死者の世界）から出ることで、常闇が回復する物語です。

この類話に、キリスト教の神の子イエスは、ゴルゴダの丘（イスラエル、エルサレム地区所在）で、二人の強盗と十字架で処刑され、岩穴に埋葬され「イエスは3日後に復活する」という予言で復活したと聖書に記載があります。この復活祭（イースタ）で兎が地穴を出入りすることから兎の置物と、卵から鶏の誕生を祝う風習があります。

〔蛇足〕クラス担当の川田信平教授（解剖学。旅立ち98歳）引率、東京浅草のロック座で現人神（あらひとがみ）の天鈿女命の筋肉構造の見学実習をしました。「おおらかなよき貧乏学生時代」の思い出の一つです。

4 物語のウサギの毛色は？

多くの人々に「兎の毛色は」と尋ねると、童話「因幡の白兎：イナバノシロウサギ」の挿絵「兎」が「白毛」なので「白」と答えると思います。「白兎神社」案内書にも「白毛兎」の絵や絵馬にも載っています。幼児のころ満月に杵で餅を搗く黒い兎の影姿を観ることができましたが……。

解読不能とされていた「古事記」を34年間（1764年（宝暦14）から1798年（寛政10））をかけて解読をした、本居宣長（江戸時代の国学者・文献学者・医師）書の注釈に兎の毛色は「白」と述べていません。「いつから（シロウサギ）とされたのか？」

「稻羽之素菟」の「稻羽」とは稲場であり、イネの置き場を指し、各地の地名や人名に稲葉もみられます。「素菟」訓読は「ハダカウサギ」と読みますので、兎の毛色は灰色や黒色、皮を剥かれ血液に染まった赤色とイメージで解釈できるのでは？

「素」とは、無地の絹糸のことで純白。樹皮を剥いた木を「白木」と書いて「シラキ」と読み、色に関係なく、反対語は樹皮のついたままの木を「黒木」「クロキ」と読みます。

昔は、葬儀の着物を「素服」と云い「白色」で、今日は一部の地域を除き、ほとんど「黒色」を着用しています。しかし、我が国や外国の「婚姻式」の女性着物は無垢な身体よ」と、白色を着用する風習がみられます。隣国の朝鮮半島の葬儀は白色喪服を男女とも着用しています。

小学校校庭の隅の小屋でシロウサギ飼育に関った、兎はウサギ類に属するカイウサギで日本原産のノウサギとは別種で、国内に広く分布する「ニホンノウサギ」は、夏期の毛色は焦げ茶かベージュ、積雪地域は白毛と変化します。隠岐島には白い亜種オキノウサギが年間生息しているようです。（伝聞で未確認）。「アマミノクロウサギ」は、鹿児島県の奄美大島と徳之島の2島のみに生息する1属1種の日本固有種で、絶滅危惧IB類に分類され、その名のとおり黒褐色の毛で覆われており、寿命は飼育下でおよそ15年。体長は41～51 cmと小学校で飼育されているようなウサギとほぼ同じ大きさですが、耳が小さいのが特徴、手足は短く、巣穴を掘って生活するため前足の爪はよく発達し、巣穴は長さ30～200 cmにもなるトンネルになっており、直径50～180 cmもの部屋を作るそうです。（環境省資料抜粋）

瀬戸内海の大久野島（広島県竹原市忠海町に属する）に約1,000羽の茶毛兎が島内至る所で野生化した兎に餌を与える、観光客で賑わっている状況をテレビ放映で観ました。

アフリカ民話で兎が湖を迂回するのを億劫り、ワニに尻尾を食いちぎられて、ウサギの尻尾は短いとする話があります。「子供に語る世界話」主婦と生活社発行

なお童話の「因幡の白兎」を人間と想像すると、隠岐の島の住人が、島根の海岸に渡るにあたって、荒波の日本海を底の平らな和舟を漕ぎ、海岸沖合の150メートルに点在する岩礁を「ワニ」に譬えると、岩礁に舟がぶつかり転覆して、人は海に流され、荒波に隠れた岩で肌に擦り傷を受け海岸にたどりつき、血だらけで苦しんでいるところに、住人から蒲の花粉で施術を受けたと、物語の読み替えができると思います。

白兎海岸の周辺には「気多の岬」や兎が身を乾かしたとする「身干山」や体を洗った「水門」があります。蒲の密生する「不増不減之池」は1945年の太平洋戦前までが存在したようです。

物語の兎は3年の寿命を全うした後に、大国主命に予言した実績で凄腕の縁結び祭神「白兎神社」（鳥取県鳥取市白兎613）叶わぬ恋も叶えるとして祀られ、婚活願掛け賽銭10円で賑わっています。

5 医史にも登場する大国主命は

我が国医学の起源に関しては諸説があります。「古事記」や「日本書紀」から推測すると、人々が磨製石器や土器をつくり、農耕や牧畜で生活の定着が進み、集落や墓地を形成する新石器時代の末とする「縄文時代」と文献にみられ、病気は、神気・物の気（怪）（もののけ）よる病とされています。

医療の始祖の大國主神と並び医療神とされる「少彦名神（すくなびこ）」は朝鮮半島よりの渡来人と思われるます。記録に414年に医師の金武（こんむ）は新羅（朝鮮）より19代允恭（いんぎょう）天皇（即位（412年？））の病気を治療するため来国しています。

その後も高句麗（こうくり）や百済（くだら）から医師の渡来が続き、当時、朝鮮で行われていた医療は、中国医療（漢方）で朝鮮を経由し、我が国に伝来しています。中国医療の漢方や医療器具が直接、中国から直接、伝えられたのは562年とされています。

「拙文の記述に接続語句の使い方、や誤脱字、記録の記載漏れなどがあるさい、諸氏の寛大な心でご笑読ください」

6 獣医師名称と診療の誕生

獣医診療史で、古代インドや、メソポタミア南部のティグリス・ユーフラテス両川下流域の古代諸王国興亡中心地のバビロニアで牛馬治療の記録があります。

わが国は仏教の殺生禁断の戒律を守る理由で明治に至るまで食肉習慣が失われ畜産業は放棄され、千年間ほど医療は牛馬の荷役や戦闘用馬を飼育する関係で、牛馬治療は医療知識を有する者が民間療法で行っていたと推測できます。

5代将軍徳川綱吉は動物保護精神「生類あわれみの触書」で犬や馬治療に関して「犬医者」や「馬医者」「飼い犬登録」の記述がありますが、各種資料に医師名が見当たりません。当時、医者に診せるという習慣がないため猟師や飼育者が治療経験の知識がある人が医者と称し業を行っていたと推測します。綱吉の死後、早々に生類あわれみの触書は廃止され、医師と称していた人も廃業したようです。なお司馬遼太郎著書「北斗の人」に北辰一刀流開祖で幕末剣客「千葉周作」の父親「浦山寿貞」称して千葉県松戸市で剣術指導と馬医を業としています。

現在、地方自治体事務「飼い犬登録」システムの起源と根拠は「生類あわれみの触書」の犬毛登録を模例していることは意外と知られていないようです。

明治時代以降、海外の牛、馬、羊が大量に輸入され、獣医療は予防や診療と組織化され、特に陸軍獣医部で軍馬の疾病治療法の書が獣医学校で教本は用いられ、満州事変（1931年昭和6年9月）開戦から第二次世界大戦の敗戦1945年（昭和20）まで250万頭が徴用されている例から知ることができます。敗戦後、600万人の軍人が帰還したにもかかわらず、徴用馬の帰還は、いまに至るも、公に消息を知らされていません。

7 我が国で「獣医」の文字の誕生は、

1717年（享保2年）大坪流の馬術書「式馬必要」に「獣医」名称が誕生しています。

明治時代に陸軍騎兵の軍馬医療とともに公に「獣医」名称の記録は、1872年（明治5）上等馬医に初めて「深谷周三」が任命されています。1877年（明治10）駒場農学校に獣医学本科設置で獣医教育が始まり、1885年（明治18）獣医師免許規則の公布以降、獣医職が公認となり、人々から獣医師の名称が認知されるまで、馬医・馬医師・伯楽と呼ばれています。

- 1）事典「広辞苑」で「馬医」は、馬の治療を専門とする医師と述べられている。
- 2）「倭名類聚抄（わみょうるいじょう）」で「馬医（うまくすし）」（くすし＝薬師・医師）と大宝令で官馬の馬寮（めりょう）で多くの役職のうち、太政官直属職員の馬医2人が治療を担う者として大宝律令官位令中で医師と同様にあげられています。
- 3）中国古代では馬を巧みに鑑定する者を「伯楽」と呼んでいました。
- 4）明治14年5月共立獣医会発行に共立獣医会季報第1号で、獣医師の呼称がみられます。
- 5）主要外国語で獣医師を獣医師を「Veterinaria」はラテン語に由来し、語源は、vee（牧獣）、teeren（病獣）、aert（施術者）と、小澤温吉「獣医の説」に記述があります。

- 1）英語；Veterinarian
- 2）フランス語；Veterinaire
- 3）スペイン語；Vterinario

4) ドイツ語；Veterin または Tierarzt

なおドイツ語には「Veterin」という言葉と「Tierarzt」（注：「Tier」は動物の意、「Arzt」は医師の意）という、前者は専門用語として、後者は一般的な呼称で使われているようですが？

編者は、横文字認知欠落症で、特にドイツ語の単位は、鎌田特任教授（獣医微生物学、現：獣医臨床病理学）も恩師とする、クラス副担任の大熊教授の微生物研究室内を断りなく一方的に 6 時間かけて掃除して修得できました。「天国の大熊教授に感謝」です。今の時代では「万年落第」良き時代の思い出です。

8 獣医師の「業務独占資格」「名称独占資格」とは

獣医師免許の認可担当の機関は農林水産省で、医師や歯科医師、薬剤師、看護師を所管は厚生労働省です。農林水産省と環境省は「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律」（ペットフード安全法）を担当しています。

獣医師は、獣医師法第 22 条の規定に基づき、「獣医師免許を保有しているすべての者」を対象に 2 年ごと農林水産省に書類提出義務付けられ平成 30 年の届出状況 39,710 人です。

なお獣医師の診療は「業務独占資格」で飼育動物（牛・馬・豚・めん羊・山羊・犬・猫・鶏・うずら・その他獣医師が診察を行う必要があるものとして政令で定めるものに限る）の業務を行うことができます。獣医師の「名称独占資格」は「獣医師」・「動物医」・「家畜医」・「ペット医」等の紛らわしい名称を使用することができません。

市中に獣医療・コンビニ・歯科・理美容の施設が 500 メートル距離で業実態がみられます。新卒獣医師免許資格取得者が臨床施設で 3 年以上の診療経験済みの獣医師？

近頃、「小動物鍼施術院」を見かけますが、「鍼」の施術行為は、医療行為の一環で獣医師資格を必要とします。医療登録は都道府県の扱い事務です。人間には「あんま・鍼・施術に関する法律」が適用されます。今日、街なかで、保健所に無登録で美容エステ・整体治療院で無資格者がマッサージを行う施設が多くあり、筋肉障害・脊柱・胸椎骨折の相談が消費者センターに寄せられているようです。

9 獣医師のこれまでの役割と、これからの役割

明治時代に西洋文明の輸入とともに、牛馬や豚など肉を食べる文化と乳用や農耕に利用する家畜が数多く持ち込まれ、畜産業も進展し、家畜診療や乳肉食品の衛生管理も求められました。

1885 年（明治 18）の太政官布告（だじょうかんふこく）で、畜産業の需要に応える西洋獣医学の必要性が認められ「獣医免許規則」施行。これ以降、獣医師免許の有資格者に限り家畜診療ができるとされています。教育課程は、家畜伝染病の診療や予防・研究を根幹にして臨床は軍馬が主体でした。

現代、獣医師法は、動物の診療や保健衛生指導などを通して、次の三つに寄与することを獣医師の使命とされ責務が課せられています。

（1）動物の保健衛生 （2）畜産業の発展 （3）公衆衛生の向上

これからの獣医師の役割は産業動物の牛、馬、豚、鶏などに加えて、コンパニオンアニマルの犬、猫、兔、鳥、エキゾチックアニマル、野生動物とも共存社会形成を目標に互いの存在を大切にする役割。また公衆衛生の視点から人畜共通感染疾病予防と診療と共に産業動物の健康や衛生管理および保健所や検疫所・企業と食品の安全を守る重要な役割が課せられている認識が求められています。

現代、一般社会で馬を身近にみる場所の一つに地方や中央の競馬場があり、また郷土歴史文化料理で馬肉を食する県もあります。朝鮮民族の食生活文化で犬肉「補身湯」食が裏道に残っています。わが国も江戸時代に「かぶき者が夏負け」予防で犬肉を食する風習がありました。

1961 年卒業後、新任で大森保健所に勤務した空地の冷凍廃車内に犬肉を吊るし保管。渋谷保健所管内で営業するハンパク店に犬肉を提供する事例がありました。

犬肉処理と販売は食肉加工処理規定に該当しないので、食品衛生法第 4 条に定める「……おそれある食品で処分」例を記憶しています。今日、犬肉の食風習を聞くことがありません。

10 獣医学史の関係年表（西暦）（参考：中村洋吉 著 1980）と加筆

BC13000 年頃：ラスコー洞窟壁画に動物絵が描かれ犬が家畜化されていたと思われる。

BC12000 年頃：ドイツの遺跡で人と犬の骨がともに出土。

BC2000 年頃：シュメール人により世界最初の獣医師に関する記述がある。

BC2300 年頃：メソポタミアのエシュムナ法典に狂犬病と思われる記述が残される。

BC2500 年頃：エジプトの壁画に牛の助産の様子が描かれる。

BC3000 年頃：南フランス（ショーヴェ洞窟壁画）に人類最古の絵画（動物絵）が描かれる。

BC4000 年頃：馬が南ウクライナで家畜される、豚はメソポタミアや中国で家畜化、鶏が東南アジアで家畜化される。

BC7000 年頃の夏島貝塚（神奈川）から犬の埋葬骨が出土。

BC8000 年頃：羊と山羊が西アジアで家畜化される 同上 牛がメソポタミア（現イラク）で家畜化。

BC 4～5 年頃：ギリシャ「体液病理学」ヒポクラテスを記している。

BC300 年：魏志倭人伝・日本は牛馬がいないと記されている。

BC700 年：中国で孫陽が伯樂と称される。

4～5年：朝鮮半島經由で馬が渡来。
9～10年：東ローマ帝国において「馬医学全集」が出版。
13年：神聖ローマ帝国のフリードリヒⅡ世が「馬医学」の編纂を命じる。
400～500年：朝鮮半島から馬が渡来。
595年：聖徳太子は、待臣 橘猪弼（たちばなえのすけ）に高句麗（古代朝鮮国）から来た馬医術に長けた僧（恵慈）に療馬法を学ばせ、（太子流療馬術）獣医学教育第一号。
701年：（大宝元年）に制定された大宝律令の官位令に「馬医（うまくすし）」と称し、大動物の獣医師、牛馬の個体識別は烙印で記し、疾病治療、屍体処分などの仕事をしています。馬の良否を見分ける人名「伯楽」称しています。
712年：「古事記」成立。大国主命による稲羽（因幡）の素戔の治療に関する記述がある。
900年：東ローマ帝国で「馬医学全集」出版。
905年：延喜式に「馬医寮」の記載。
907年：延喜式が制定された時、白馬で御殿の前を通る儀式が行われ、馬医が従っています。
982年：医方心が、丹波康頼（たんばのやすより）に書かれているが、随、唐の医書の抜粋で、記載に狂犬病の症状治療がある、当時の日本に狂病が発生の有無は不明。
1298年：忍性 鎌倉の極楽寺坂下に馬病屋を建てる。
1300年：神聖ローマ帝国で「馬医学」編纂。
1464～1600年：安西流馬医伝書、馬医醍醐、桑島流馬医巻物にみる。
1467年：応仁の乱以後、織田信長が天下統一に乗りだす戦国時代、戦陣に馬医を従える。
1505年：病馬覚書「上中下3冊」。
1512年：御随臣三上記には、療馬法の詳細、湯治、針、灸について記されている。
1551年：馬医醍醐 12冊。
1573年：療馬図説。
1598年：イタリア ルイニ「馬の解剖学と病氣」。
1674年：オランダ レーウエンフックが顕微鏡を使って微生物を観察。
1685～1708年：人の保護も含む世界最初の動物愛護法「生類憐みの触書」にある。
1616年：犬の書熱病、腹腫、虫くだり或いは腹鳴、口中洗薬、眼病、息合（食欲不振）など症状、治療について記されている。（小橋次郎右衛門 著）
1656年：日本初の馬の去勢。
1659年：牛病書（井口十右衛門 著）。
1662年：（寛文2年）「獣医」の名称が療騏大成逢原集（湯原信里著）の序に初めて掲載。
1680年：徳川綱吉 四谷に病馬厩を設ける。
1685年：生類憐みの触書に犬の保護と犬医師の職制ができた。
1711年：ランチシが牛疫対策として家畜の殺処分方式を提唱して初めて実施される。
1728年：徳川吉宗がインド産の白牛を輸入、千葉県南房総市の嶺岡牧が日本酪農発祥。
1744年：山本秀実「牛書」発刊。
1756年：牛療治調法記 牛の鑑定法、鼓脹症、咳、熱中症に関する、丁字屋九郎右衛門（ちょうじやくろうえもん）著
1700年～1880年：良薬馬療弁解、扇馬訳説、馬匹解剖図、解馬新書、馬療新編、馬療新論、馬原病学。
1879年：深谷周三が馬医監（後の獣医監）に就任 明治政府が富国強兵政策として軍馬を改良。
1877年：東京の駒場農学校の設立で近代獣医学の始まり。家畜伝染病や栄養障害による疾病や繁殖障害などの研究をはじめ、一般獣医学の研究が盛んに行われた。
1912年：獣医師法の制定運動が始まる。（明治45年頃）また全国の獣医師1,000余名が連署で国会に獣医師法制定の請願書提出のなかで「獣医師」という名称が用いられ、大正15年4月7日；旧獣医師法公布（法律第53号）。
1924年：国際獣疫事務局（OIE 設立）。
1926年：獣医師法（旧法）公布。
1928年：日本獣医師会設立。
1935年：忠犬ハチ公没。
1949年：獣医師法（新法）公布 大日本獣医学会は日本獣医学会に改称 国立学校設置法・獣医学科があった高等農林学校が新制大学へ移行、私立の獣医専門学校も大学に移行。慶応義塾獣医畜産専門学校が廃校。
1950年：狂犬病予防法公布。
1951年：家畜伝染病予防法全面改正 日本獣医協会は日本獣医師会と改称。宇都宮大学農学部獣医学科廃止。
1956年：国内における最後の人および犬の狂犬病感染。
1978年：獣医学修行年限が学部4年及び修士課程2年の、いわゆる「積上方式」となる。
1984年：獣医学修業年限が6年一貫教育となる。
1986年：海綿状脳症（BSE）が世界で初めて確認される。
1997年：鳥インフルエンザの人への感染を初めて確認。
2000年：国内で92年ぶりに口蹄疫発生。

2001年：国内最初の牛海綿状脳症（BSE）発生。

2004年：国内で79年ぶりに鳥インフルエンザ発生。

2010年：春から夏にかけて、宮崎県南部を中心に広まった口蹄疫発生。

2019年：中国・韓国でアフリカ豚コレラ流行。わが国も猪を感染源で豚コレラが流行し、予防接種実施。豚コレラの病名を経済被害防止のため12月に「豚熱」と改名。

2020年：香川県で三豊市の養鶏場で4例、東かがわ市で1例の計5例の鳥インフルエンザ高病原性H5N8型発生。

2020年：千葉県いすみ市の養鶏場で2例鳥インフルエンザ発生高病原性「H5N8型」発生。

11 「愛信桜会」メンバーと出逢い

小田急沿線に沿う藤沢の地に緑あふれる樹木に囲まれている、広大な恵まれたキャンパス「生物資源科学部」と、異なる60余年前。1957年（昭32）三軒茶屋の学部名称は「農獣医学部」。学舎は狭い敷地内に校庭を囲み、木造2階建とコンクリート4階建。ここに農学・獣医・畜産など各学科教室・実習室・研究室と、馬房までも混在していました（現地：危機管理学部）。

この学舎に北海道や沖縄から黒色詰襟学生服に学帽、黒革鞆を持つ160人の仲間（社会経験者は背広にネクタイ）と、出逢い、4年間を午前9時から17時まで、教授や仲間と学び交誼。

当時の世相は、「沖縄の仲間はパスポートとドル貨幣持参する留学生」「南極大陸に昭和基地設置・隊員11名と犬19匹・ネコ1匹・カナリア2羽が越冬」「紙幣が100円・500円硬貨に替る」「茨城県東海村に湯沸型原子炉で発電」「ソビエトの人工衛星打上げ初成功」など報道されていました。

一方、渋谷「恋文横丁」喫茶店でコーヒー（50円）・タバコ（30円）を嗜み、飲酒・麻雀・パチンコを覚えた仲間92人と1961年（昭36）両国旧国技館で日大全学卒業式。

その後、診療業や就業で40年間、社会で懸命に働き過ごし、いま75人「愛信桜会」名に絆を結び、（2019年9月15日現在推計総人口1億2千617万人、80歳以上の超高齢者1千125万人（8.9%））うち、仲間は「薬をおやつ」に暮らしています。

その他の参考図書は

日本古典文学大系「古事記 祝詞」岩波書店発行（昭和33年）、医学の歴史（小川鼎著；中好中公新書）・風俗歴史辞典・徳川時代触書集・伊予小松藩会所日記・幕末下級武士の絵日記・幕末下級武士のリストラ戦記・中野区の史跡・東京都保健所の業務・新約聖書・電子辞書。

参考図書は文中にも記しましたが、歴史の補足は、貴兄にお任せ致します。

拙文中、登場する人物年齢は推測で、記述語句の使い方や誤脱字、記録年表記載に脱落がある際、寛大な心で笑読ください。ここまで読んでいただきありがとうございます。

2020年角笛会総会で、角笛会幹事役員並びに会員諸氏の厚意を受け、愛信桜会並びに会員の川泉邦夫・鈴木敏夫・吉村武明の会運営の尽力に関し、学年幹事推薦による配慮いただき感謝の御礼「ありがとうございます」を申し上げます。今後とも会員として角笛会の盛隆並びに獣医学の進展に寄与するために努めていきます。



月岡芳年 風俗三十二相「うるささう」

日本大学生物資源科学部獣医学科教員

(敬称略
R3.4.1現在)〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
電話番号：0466-84-3800(代表)

【獣医解剖学研究室】	6号館	教 授 五味 浩司 准教授 安井 禎 助 教 高橋 直紀
【獣医病理学研究室】	6号館	教 授 渋谷 久 専任講師 近藤 広孝
【獣医薬理学研究室】	6号館	教 授 山崎 純 助 教 山口 卓哉
【獣医微生物学研究室】	6号館	教 授 遠矢 幸伸 助 教 木庭 獺達
【獣医生理学研究室】	6号館	教 授 金山 喜一
【獣医病態生理学研究室】	6号館	教 授 鯉江 洋
【獣医生化学研究室】	6号館	准教授 岡林 堅
【分子生物学研究室】	6号館	専任講師 成田 貴則
【医動物学研究室】	6号館	教 授 松本 淳 助 教 増田 絢
【獣医臨床繁殖学研究室】	9号館	教 授 大滝 忠利 准教授 住吉 俊亮
【獣医外科学研究室】	9号館	教 授 浅野 和之 教 授 枝村 一弥 専任講師 関 真美子
【獣医臨床病理学研究室】	9号館	特任教授 鎌田 寛 准教授 丸山 治彦
【獣医皮膚病学研究室】	9号館	准教授 加納 塁
【獣医内科学研究室】	9号館	教 授 亘 敏広
【獣医消化器病学研究室】	9号館	教 授 坂井 学

【獣医放射線学研究室】	9号館	教 授 中山 智宏 専任講師 高橋 朋子 助 教 合屋征二郎
【獣医衛生学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 伊藤 琢也 助 教 瀬川 太雄
【魚病/比較免疫学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 森友 忠昭 専任講師 片倉 文彦
【獣医伝染病学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 小川 健司 准教授 小熊 圭祐
【実験動物学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 佐藤 雪太 専任講師 越後谷裕介
【獣医公衆衛生学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 丸山 総一 専任講師 佐藤 真伍
【獣医食品衛生学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 壁谷 英則
【獣医麻酔・呼吸器学研究室】	病 院	教 授 山谷 吉樹 専任講師 手島 健次
【獣医神経病学研究室】	病 院	教 授 北川 勝人 教 授 伊藤 大介
【獣医産業動物臨床学研究室】	動物医科学研究センター	教 授 堀北 哲也 専任講師 大野真美子

お知らせ

角笛会同窓会開催のご案内（予告）

令和4年11月11日～13日に開催にされる第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会並びに令和4年度日本獣医師会獣医学術年次大会に伴い、角笛会懇親会を開催いたします。

- 日 時：令和4年11月11日（金）18：30～（受付18：00）
 - 場 所：ソラリア西鉄ホテル福岡（福岡市営地下鉄天神駅から徒歩3分 福岡市中央区天神2-2-43）
 - 会 費：5,000円
- ※詳細については、追って連絡します。

問い合わせ先

角笛会福岡県支部 支部長 蔵内勇夫（昭和54年卒） 事務局 衛藤修治（昭和62年卒）
TEL：092-751-4749/FAX：092-751-4751 E-mail：jimukyoku2@e-fukujyu.com
多くの同窓生皆様のご参加をお待ちしております。

*角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄りください。

ホームページアドレス
<http://www.tsunobue.org/>



編集後記

今年も新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、卒業式や入学式など様々なイベントが簡略化や中止となりましたが、今年度はソーシャルディスタンスを保ちつつ対面授業および実習を行ってきました。新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い感染症の収束と皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

角笛会会報にご意見、ご希望がございましたら獣医産業動物臨床学研究室の大野（ono.mamiko@nihon-u.ac.jp）あるいは角笛会事務局（tsunobue3@gmail.com）までご連絡ください。

今後とも、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

令和3年11月 大野 真美子（平成20年卒）